

自己防衛意識高め

名古屋の舗装修繕現場 で佐藤渡辺の石井社長

佐藤渡辺の石井直孝社長は11月25日、名古屋市で中部支店が施工する「令和元年度19号丸の内地区舗装修繕工事」の現場で、夜間安全パトロールを実施した。写真。経営トップの強力なリーダーシップの下、関係者が一丸となって

現場の自主的な安全衛生管理活動をより一層推進し、安全な職場環境を形成することを目的としており、本社からは石井社長や堂尻伸二安全環境部長、中部支店からは高畑一幸支店長や小刀禰豊安全環境部長、坂井芳成尾張小牧営業所長が参加した。

同工事は、名古屋市内を南北に結ぶ伏見通と東西に結ぶ桜通が交差する中区丸の内

日銀前交差点の舗装修繕工事で、交差点中央部はP C a c o n クリート版、周辺部は現場打ちコンクリートで夜間施工している。

パトロールでは、重機と人との分離状況、誘導員の配置状況、重機オペレーターの有資格証の携帯状況、特定自首検査証の貼付状況、P C a c o



ンクリート版の吊荷状況、ワイヤの点検状況、交通整理員配置状況、規制帯設置状況などを重点的に点検確認した。

また、現場に従事する社員や協力会社の事業主との意見交換も実施し、働き方改革や担い手の確保、就労環境を取り巻く課題について職員らの意見を聞いた。

石井社長は「慣れによる慢心が事故につながるケースが多い。狭い規制内での誘導や停止位置など、現場で決めたルールをしっかりと守るよう

に。交差点を規制しての工事であり、第三者事故の防止に努めるとともに、万が一、一般車が規制内に突っ込んで

きても自分の身を守るように全員で自己防衛の意識を高めてもらいたい」と呼び掛けた。

